

大規模災害発生に備え、「道路啓開訓練」を実施しました！

～南海トラフ地震を想定し、防災関係機関が連携強化～

概要

- 土佐国道事務所では平成26年度より毎年道路啓開訓練を実施。
- 今年度も、12月10日に高知市布師田（高知中央産業団地）にて実施。
- 参加団体、参加者
土佐国道事務所、高知県、高知県警、高知市消防局、建設業協会、四国電力
総勢92名（建設業協会見学者含む）

過去からの改善点

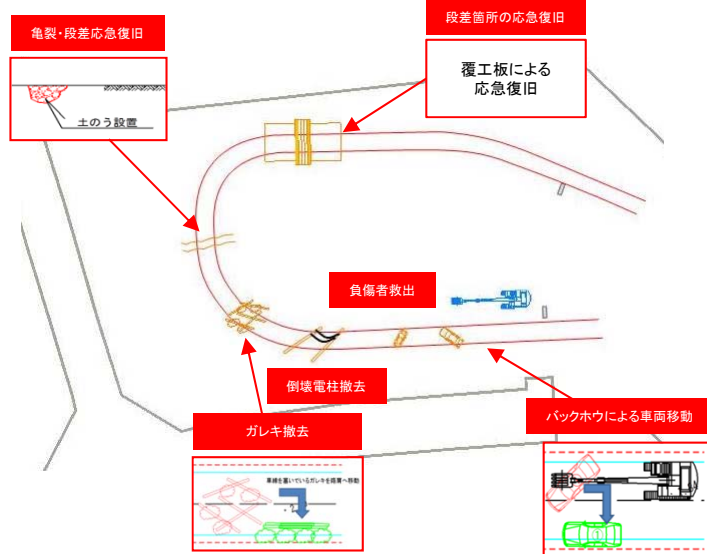
- これまでの訓練は行政側主体となっていた。
→<改善>建設業協会（会員企業含む）の実動訓練をメニューに加えた。
- ご遺体、貴重品発見時の対応が分からないといった意見があった。
→<改善追加>ご遺体、貴重品発見のシナリオを追加し、
高知県警からの対処方法等について説明を加えた。
- 今年問題となった倒壊電柱の対応。
→<追加>四国電力の実働及び対処方法の説明を加えた。



訓練場所



訓練場所
(高知中央産業団地)



開会式の様子



建設業協会啓開実働企業による放置車両撤去訓練。
災対法に基づく手続き等も行い、習熟を図った。

大規模災害発生に備え、「道路啓開訓練」を実施しました！

～南海トラフ地震を想定し、防災関係機関が連携強化～

訓練状況

R元年12月10日開催

※建設業協会からは、“今回の訓練は実働の訓練ができ大変有意義であった”と感謝。
また、見学企業からは、“私たちも参加したかった”との声多数。



四国電力による停電確認を行った後、電線及び電柱の撤去を実施。



貴重品発見時の対応に関する訓練も実施。



ご遺体発見時の対応訓練
今回は、ご遺体場所に目印の旗を立て、啓開を進める訓練とした。



土佐国道、高知県の若手職員参加の路面復旧訓練
土のう作りから、積みまでを実体験。



路面の段差を覆工板により解消。



啓開完了後の緊急車両の通行。